

地域再生計画

1. 地域再生計画の名称

湯星の森 上州たかやま「自然と共生した村づくり」地域再生計画

2. 地域再生計画の作成主体の名称

群馬県吾妻郡高山村

3. 地域再生計画の区域

群馬県吾妻郡高山村の全域



村のキャラクター

4. 地域再生計画の目標

高山村は、群馬県北西部の高原・丘陵地帯に位置し、東は沼田市、南は北群馬郡小野上村、西は中之条町、北は利根郡新治村・月夜野町に接しており、1,000m内外の山に囲まれた東西11.34km、南北10.63km、総面積64.16km²の農山村で、そのうち47.26km²を森林が占めている。

また、吾妻川支流の名久田川が村域中央を東西に横断し、中央の谷が北部の山・南部の盆地に分かれている。気候は概ね冷涼で、年間平均気温11℃、年間降雨量は1,185mm、降雪期間は12月中旬から3月上旬頃までで、積雪量は20cm程度である。平成17年8月末現在の人口は4,300人、世帯数は1,263世帯で、最近の人口の社会動態を見ると平成6年より始めた宅地開発事業により平成8年度以降微増傾向であるが、自然動態は出生数の減少と高齢化に伴う死亡数が多く減少傾向にあり、総体的には、横ばい傾向となっている。

産業面では、こんにゃくを中心に、野菜・椎茸・米・果樹・畜産等を中心とした農業、広大な山林面積を持つ林業、個人商店が多い商業、小規模事業所がほとんどの工業、年間60万人の観光客が訪れる観光等、複合型の村である。

土地利用の状況は、農地744ha(11.6%)、採草放牧地62ha(1.0%)、宅地145ha(2.3%)、森林4,726ha(73.7%)で、農地は平地が少ないという地形的条件も重なり減少傾向にあり、畑地の整備率も低く、最近では耕作放棄地も多くなってきており、宅地は増加傾向にある。

平成17年3月に策定された第4次総合計画(「高山村協働の村づくり計画」)では「人が輝き、伝統息づく星の里」をテーマに新しい村づくりを目指しており、7つの基本目標として、「自然と共生した村づくり」、「いきいき産業の村づくり」、「歴史・文化が息づく村づくり」、「賑わいのある交流の村づくり」、「未来に向けた人を育む村づくり」、「充実した福祉の村づくり」、「みんなが創る村づくり」を掲げている。

その中で「自然と共生した村づくり」では、生活様式が変わるに従い、村の生活環境は村営住宅地域及び宅地開発地域を除く大部分が未処理のまま生活雑排水が道路側溝に排出され、農業用水や河川の汚染の原因となっており、公共用水域の水質を著しく低下させている。吾妻川の支流をなす名久田川の上流地域として水源を有するという点からも良好な水質を確保するという責任は重大である。

このようなことから適正な生活排水処理(農業集落排水事業及び浄化槽市町村設置型事業)を推進することにより、快適な生活環境の確保と自然環境・公共用水域の水質保全を図っていくことが必要である。

住宅地域や農村集落など、豊かで快適な生活環境を保つための生活基盤施設の整備はもとより、より美しい景観の維持と形成を図るため、たかやま高原牧場周辺や村内の道路沿いに、四季を通じて楽しめる花木栽培を進め、花いっぱい運動を積極的に推進し、村民の緑化意識の高揚を図る。

また、村の基幹産業である農業経営の高度化、優良農地の有効利用など基盤整備の他、滞留型・滞在型の体験農業などグリ-ンツ-リズムの推進、農産物加工による付加価値の高い特産品の開発等により、観光交流と連携した農業振興を推進する。

さらに、本村の持つ自然美及び自然の大切さを理解してもらえよう、山・たかやま高原牧場・みどりの村キャンプ場・旧三国街道・県立ぐんま天文台・名久田川流域・たかやま温泉・さらに全国的にも数少ない人形操作技法をもつ国選択無形民俗文化財の尻高人形芝居などを活用し、自然体験学習をはじめ、自然に親しむ活動を推進する。

これらの取り組みを一体的に行うことで、自然と共生した村づくりとして農村地域の再生を目指す。

(目標1) 污水处理施設の整備の促進

(污水处理人口普及率を現在の41%から70%に向上)

(目標2) 空き家や公共施設を利活用したグリ-ンツ-リズムや自然体験学習により観光客を誘致するとともに、農産物の販売を通じ、観光交流と連携した総合的な農業振興の推進 (村の農業売上高を10%増加)

5. 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

高山村は現在までに原・本宿・新田地区、五領・判形地区の2地区で農業集落排水事業で整備を進めており、他の地区では、浄化槽市町村設置型事業により污水处理を進めることにより、地区内の農業用水及び河川等の公共用水域の水質改善、環境改善を行う。また、景観形成として、広葉樹などの天然林を増やし、人工林との混合林を計画的に進めるとともに、花いっぱい運動を積極的に推進し、四季を通じて楽しめる花園づくりや美化活動の一環として、不法投棄防止の監視活動の強化を行う。

5-2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

污水处理施設整備交付金を活用する事業

整備箇所等は、別添の整備箇所を示した図面による。

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。

・農業集落排水施設……平成13年3月に、事業採択の通知を国より受けている。

[事業主体]

・いずれも高山村

[施設の種類]

- ・農業集落排水施設、浄化槽(市町村設置型)

[事業区域]

- ・農業集落排水施設 高山村原・本宿・新田地区及び五領・判形地区
- ・浄化槽(市町村設置型) 高山村のうち、農業集落排水施設整備地区以外の区域

[事業期間]

- ・農業集落排水施設 平成17年度～平成20年度
- ・浄化槽(市町村設置型) 平成17年度～平成21年度

[整備量]

・農業集落排水施設	管路施設	150～200	5,000m
	処理施設		1ヶ所
	ポンプ施設		12ヶ所
	雑工事(舗装復旧工)		一式
・浄化槽(市町村設置型)	5人槽	131基 (各年度)	26基 前後)
	7人槽	147基 (各年度)	29基 前後)
	10人槽	70基 (各年度)	14基 前後)

なお、各施設による新規の処理人口は下記のとおり。

- ・農業集落排水施設 1,391人
- ・浄化槽(市町村設置型) 1,139人

[事業費]

・農業集落排水施設	事業費	1,107,042 千円 (うち、交付金	553,521 千円)
・浄化槽(市町村設置型)	事業費	423,384 千円 (うち、交付金	141,128 千円)
・合計	事業費	1,530,426 千円 (うち、交付金	694,649 千円)

5 - 3 その他の事業

5 - 3 - 1 地域再生基本方針に基づく支援措置による取り組み

該当無し

5 - 3 - 2 地域再生基本方針に基づく支援措置によらない取り組み

本村では、安心性・安全性・快適性をモット - に住民の生活全般にわたる快適な環境づくりを進めながら、より良い生活環境づくりに取り組む。

(主要施策として)

「自然環境の保全と整備」として、広葉樹などの天然林を増やし、人工林との混合林を計画的に進めるとともに、集落地区では現在、農業集落排水事業を実施しており、散在地区では合併浄化槽の設置を推進している。また、護岸工事の工法の変更を図り、川遊びや生物の繁殖にも相応しい河川工事を実施する。

「花いっぱい運動の推進」として、たかやま高原牧場周辺及び村内の道路沿いに、四季を通じて楽しめる花木の植栽を進め、花いっぱい運動を積極的に推進し、また広大な遊休地を活用し他所に負けない花園づくりを目指す。

「監視体制の確立」として、不法投棄防止対策として、パトロールの強化、腕章・帽子・ステッカーなどを広範囲に配布し、村民に周知を図るとともに、不法投棄やポイ捨て防止の看板等の設置をするなど定期的な監視体制を強化する。

「環境保全型農業の推進」として、農業の基本である土づくりに力を入れ、有機栽培、減農薬・減化学肥料栽培などによるブランド商品化を進めるとともに、村の立地条件に適した特産品開発の調査研究も行っており、今後はぶどう・ブルーベリー・プルーン・さくらんぼ・柿・りんご等の果樹のオナ制度など、新しい取り組みによる交流人口の増加振興策、さらに食生活改善推進グループや生活研究グループなどによる地場産農作物を使用した特産加工品開発の推進を図ったり、また、遊休地や果樹園を生かした体験農業の展開を目指したグリーンツーリズムを含めた果樹観光農園づくりを進める。

6. 計画期間

平成17年度～平成21年度

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画完了後に、4. 地域再生計画の目標に示す数値目標に照らし、状況を調査・評価し、公表する。また、必要に応じて事業の内容の見直しを図るために、村及び「各地区推進協議会」等関係機関による会議を開催し、整備・利用状況等について評価・検討を行う。

8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

高山村は、各地区推進協議会等を通して地域の实情に即して、農業集落排水事業及び浄化槽市町村設置型事業の整備計画に基づき、計画的・長期的に下水道事業の推進を図る。また、既存の浄化槽については、管理監督の強化と下水排水路の整備改良に努め、高齢者世帯や下水道事業未加入者などへの普及活動に努めていく。汚染防止や河川環境保全など、環境衛生に対する村民の意識啓発を図り、下水道の完全普及を目指し、たかやま高原牧場・みどりの村キャンプ場・旧三国街道・県立ぐんま天文台・名久田川流域・たかやま温泉など、やすらぎと癒しの空間に恵まれた週末滞在型観光及びレクリエーション地域としての整備を図っていく。